

【道路建設課所管 事後評価審議資料】

○道路改築事業【（一）大垣江南線（小泉～西結）】

- ・平成28年度事後評価箇所表
- ・説明資料（パワーポイント）

平成28年度事後評価箇所表

担当課〔道路建設課〕

番 号	2	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 (一般県道 大垣江南線 小泉・西結工区)
事業実施箇所	ぎふけん おおがきしこいずみちよう あんばちぐんあんばちちようにしむすぶ 岐阜県大垣市小泉町～安八郡安八町西結		全体事業費 (当初12,000) 11,700百万円
採択年度	平成13年度	完了年度	平成26年度
事後評価の実施基準	改良延長L=2.0km以上もしくは全体事業費10億円以上		
事業目的	<p>一般県道大垣江南線は、大垣市小泉町を起点に安八町、墨俣町、羽島市を経て愛知県江南市に至る幹線道路である。現在、本路線と並行する国道21号、主要地方道大垣一宮線、主要地方道岐阜垂井線は、朝夕を中心に著しい交通渋滞が発生していることから、「交通渋滞緩和」と「地域の発展を支援する」ことを目的に事業を実施した。</p>		
事業概要	<p>事業延長 L = 2,400 m、幅員 (暫定2車線) W = 6.5 (11.0) m</p> <p>主たる工種：大垣大橋 (鋼5径間連続非合成箱桁) L = 394 m、 大垣高架橋 (鋼5径間連続非合成鋼桁) L = 167 m 安八高架橋 (鋼3径間連続非合成鋼桁+単純プレテンPCスラブ桁) L = 128 m 道路改良工 (本線) L = 1711 m 揖斐川堤防右岸道路改良工 L = 586 m 揖斐川堤防左岸道路改良工 L = 520 m</p>		
概要図			
整備後写真			

評価結果

① 事業の効果

○交通量の変化

大安大橋の開通により、主要渋滞箇所の交通量が減少

■揖斐大橋（主要地方道 岐阜垂井線）

大垣江南線の開通により、揖斐大橋西詰では交通量が約 20% 減少（15,983 台→12,684 台）。

■大垣大橋（主要地方道 大垣一宮線）

大垣江南線の開通により、大垣大橋西詰では交通量が約 7% 減少（16,044 台→14,950 台）。

○交通渋滞の緩和

■揖斐大橋（主要地方道 岐阜垂井線）

揖斐大橋西交差点では、最大渋滞長が約 1,400m ⇒ 0m となり、渋滞が解消。

■大垣大橋（主要地方道 大垣一宮線）

大垣大橋西交差点では、最大渋滞長が約 710m ⇒ 約 530m となり、渋滞が緩和。

○混雑回避による救急救命率の向上

本工区の整備により、大垣市墨俣地区から大垣市民病院へのアクセス性が向上
アクセス向上により、所要時間が短縮し（整備前約 18 分、整備後約 10 分（約 8 分短縮））、重篤患者の救命率向上が期待

○費用対効果分析

一般県道大垣江南線小泉西結工区の B/C は 7.4 と算定。

1.0 を超える値であることから事業の妥当性が確保されていることを確認。

② 環境境面への配慮

○自然環境への配慮

事業実施前（平成 11 年～平成 13 年）に行った環境調査より、絶滅危惧種に指定されている「ナゴヤダルマガエル」が生息していることが判明。環境を保全するため、生息環境に配慮した工事を実施。工事完了後も、幼生及び亜成体の生息が確認されており、分布特性に大きな変化はなく、生息環境レベルは維持されていることを確認。

③ 事業を巡る社会経済情勢の変化

大企業が転出したが、アクセスの向上、交通の円滑化により、新たな企業が進出。周辺地域では、土地開発が進み、新たな事業用地の開発も進んでいる。

④ 利用者・地域住民等への効果

○利用者・地域住民へのアンケート調査結果

整備全体に関して、約7割の利用者が「満足、やや満足」と回答

混雑の緩和に関して、約6割の利用者が「満足、やや満足」と回答

⑤ 対応方針（案）

○今後の事業評価の必要性

今の段階では、今後の事後評価の必要なし。

○改善措置の必要性

今の段階では、改善措置の必要なし。

○新規事業へ適用すべき留意点

貴重種等、必要な環境調査を行い、生息環境に配慮した事業の実施を推進していく

An aerial photograph of a newly constructed road. The road is a multi-lane highway with a central median and side barriers. A white car is driving on the road. The surrounding area includes utility poles, power lines, and some buildings in the distance. The sky is clear and blue.

事後評価
道路改築事業

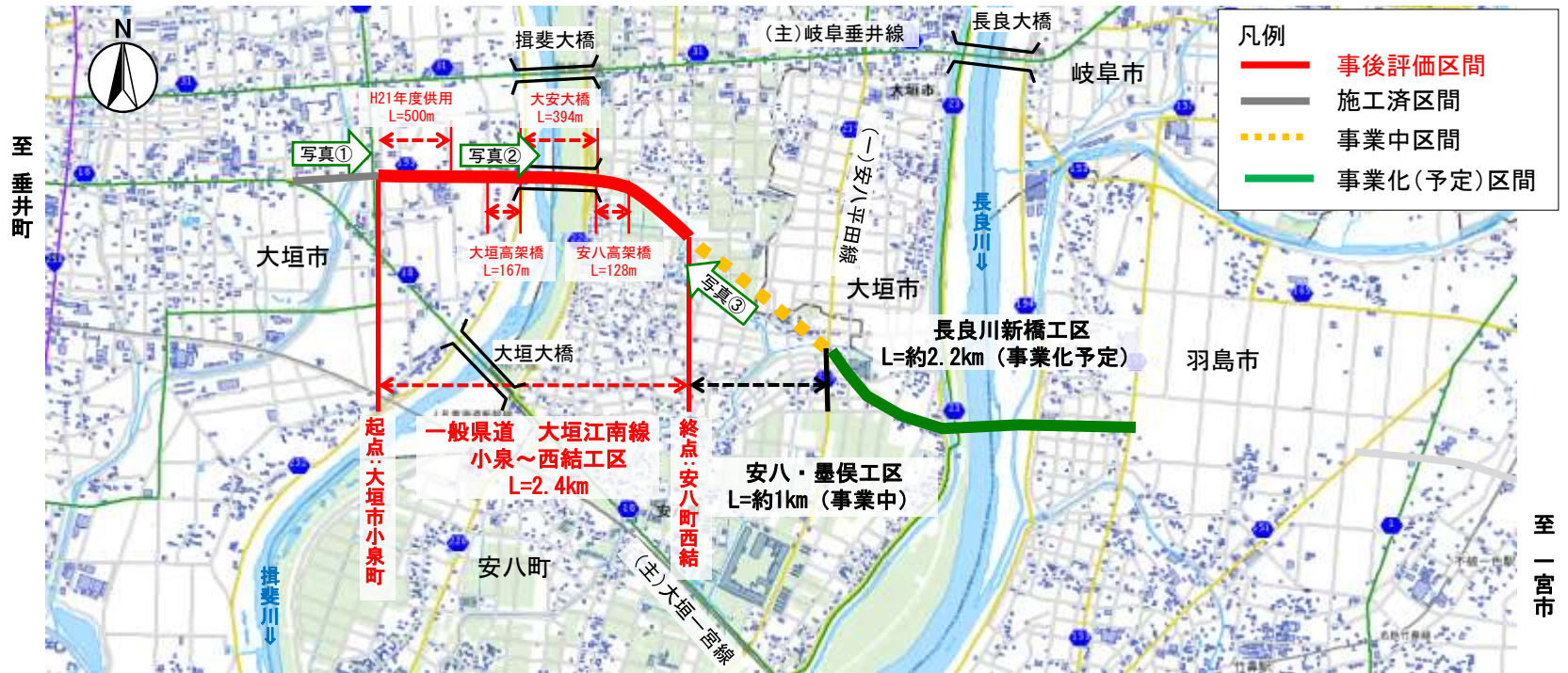
一般県道 大垣江南線
小泉・西結工区

岐阜県 道路建設課
平成29年1月

位置図①



位置図②



写真①



写真②



写真③



事業概要 ①

◆事業区間：おおがき し こいずみちよう 大垣市小泉町～あんぱち ぐん あんぱちちようにしむすぶ 安八郡安八町西結

◆全体延長：2,400m

内、大安大橋 L = 394m

大垣高架橋 L = 167m

安八高架橋 L = 128m 計689m

◆総事業費：117億円

◆事業着手：平成13年度

◆完成：平成26年度（平成27年2月18日供用）

◆幅員：車道 3.25m × 2車線（暫定）

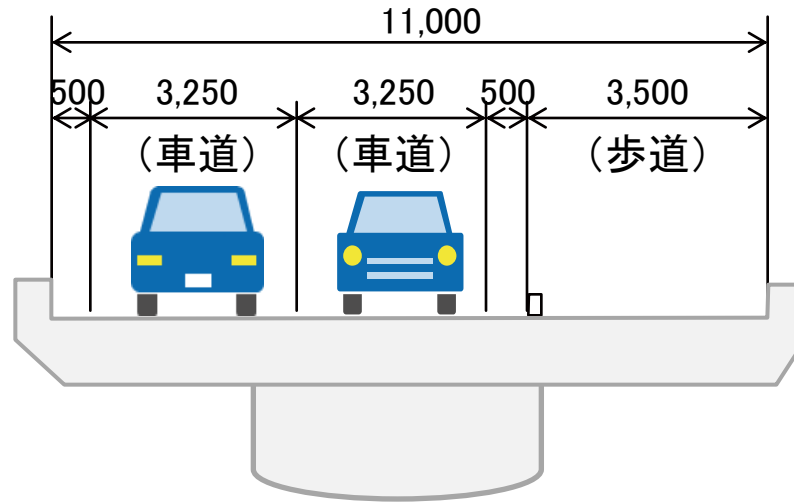
歩道 3.50m × 片側（暫定）

（※一部完成4車線整備区間あり）

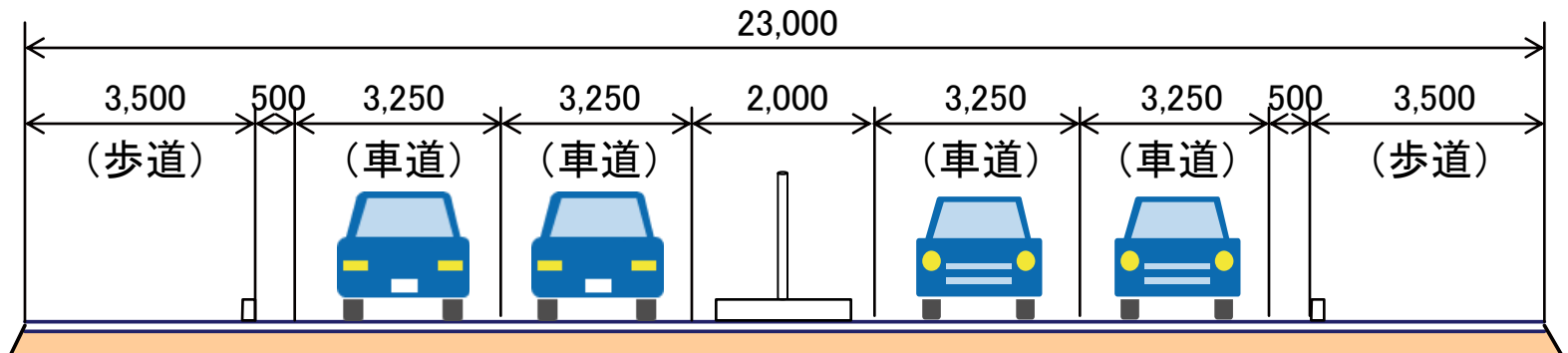
事業概要 ②

◆標準横断図

暫定2車線
(橋梁部)



完成4車線
(土工部の一部)

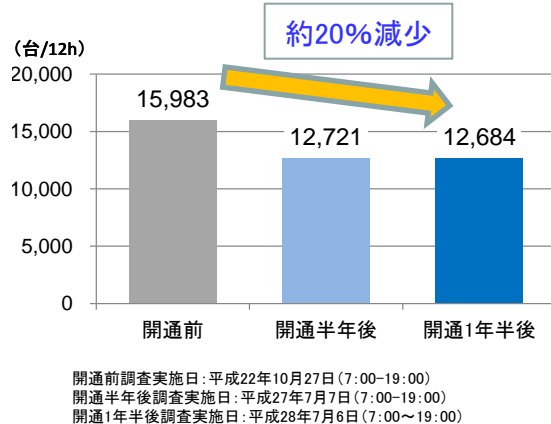


事業の効果①

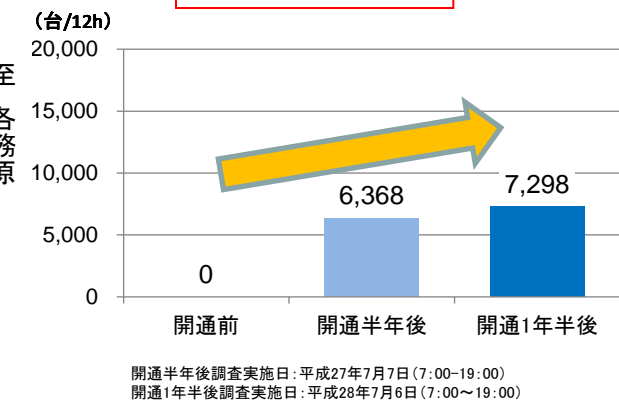
交通量の変化

- 揖斐川渡河部周辺には主要渋滞箇所が点在し、慢性的に交通渋滞が発生。
- **大安大橋の開通**により主要渋滞箇所の交通量が減少。

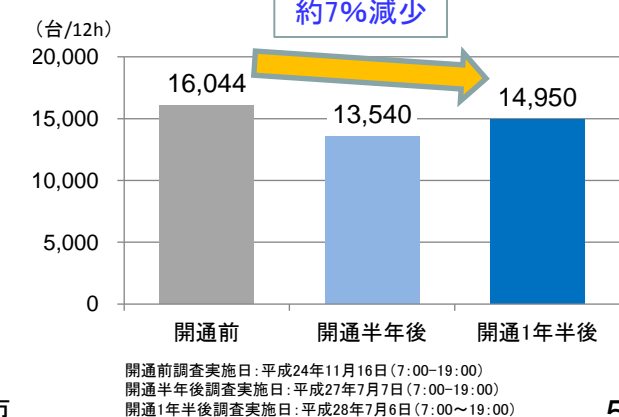
① 揖斐大橋



② 大安大橋



③ 大垣大橋



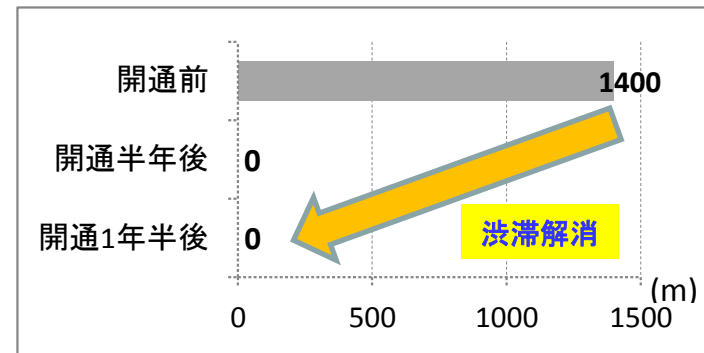
事業の効果 ①-2

交通混雑の緩和（揖斐川渡河部）

- 揖斐大橋西交差点では、最大渋滞長が約1,400m⇒ 0mとなり、渋滞が解消。
- 大垣大橋西交差点では、最大渋滞長が約710m⇒約530mとなり、渋滞が緩和。



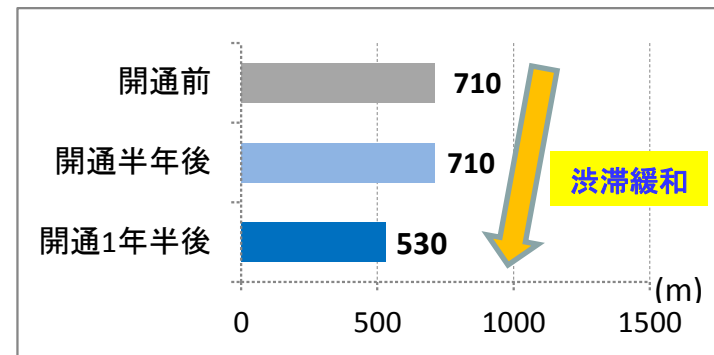
◆ 揖斐大橋西交差点(西側流入部)



開通前: 平成15年9月4日(7-19)

開通半年後: 平成27年7月7日(7-19)、開通1年半後: 平成28年7月6日(7-19)

◆ 大垣大橋西交差点(東側流入部)



開通前: 平成24年5月28日(7-19)

開通半年後: 平成27年7月7日(7-19)、開通1年半後②: 平成28年7月6日(7-19)

事業の効果 ①—3

交通混雑の現状（揖斐川渡河部）

- 揖斐大橋西交差点では、最大渋滞長が約1,400m⇒ 0mとなり、渋滞が解消。
- 大垣大橋西交差点では、最大渋滞長が約710m⇒約530mとなり、渋滞が緩和。



一宮方面の店舗へ物資を搬送する際は、（主）大垣一宮線を使っており、朝夕の混雑時で、約1時間程度の時間を要していたが、大安大橋開通後は、混雑が緩和され、半分程度の時間で到着することが出来るようになった。

出典:ヒアリング調査結果(物流企業A)

◆ 揖斐大橋西交差点(西側流入部)

写真①: 整備前の状況



撮影: H24.9撮影

写真②: 整備後の状況



撮影: H27.11撮影

事業の効果①-4

交通混雑の現状（揖斐川渡河部から長良川渡河部にかけて）

- 長良川渡河部の交通容量は不足しており、周辺道路は慢性的な交通渋滞が継続中。
- 今後は、長良川渡河部における混雑の緩和が課題である。



写真①:羽島大橋における混雑状況



撮影:H27.7撮影

写真②:長良大橋における混雑状況



撮影:H27.7撮影

※主要渋滞箇所については本工程区に関連するもののみを抽出

事業の効果②

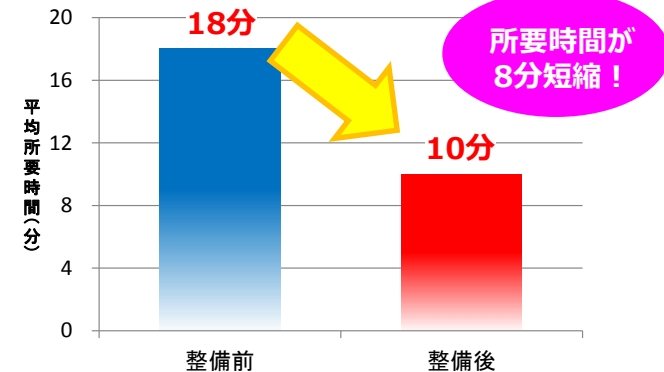
混雑回避による救急救命率の向上

- 本工区の整備により大垣市民病院（第三次救急医療施設）へのアクセス性が向上
- 例えば、大垣市墨侯地区からのアクセス時間の短縮により、急を要する重篤患者の救命率向上が期待

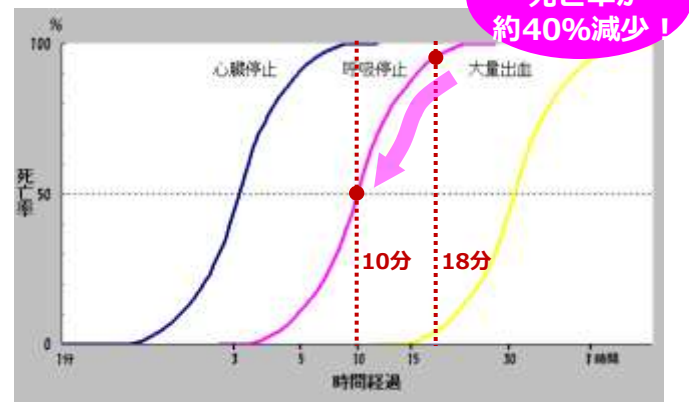


出典: 大垣市墨侯町における人口総数(大垣市統計書: 平成25年3月31日現在)

■ 大垣市墨侯支所～大垣市民病院



■ 所要時間の短縮により救命率が向上



出典: カーラーの救命曲線(Morley Cara, 1981)

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約99%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の1%未満
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の1%未満

投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 7.4 \text{ (全体)}$$

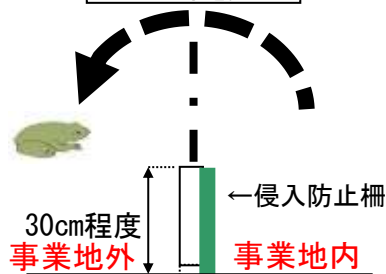
環境面への配慮

生息環境へ配慮した工事

- 事業実施前（平成11年～平成13年）に行った環境調査より、絶滅危惧種に指定されている「ナゴヤダルマガエル」が生息していることが判明。環境を保全するため、生息環境に配慮した工事を実施。
- 工事完了後も、幼生及び亜成体の生息が確認されており、分布特性に大きな変化はなく、生息環境レベルは維持されていることを確認。

■生息環境に配慮した工事

事業地外に移動させ
道路工事を実施



設置状況



ナゴヤダルマガエル



ナゴヤダルマガエルの移動作業状況
(H23.8.25)



■工事前と当該工区供用後の生息分布の変化(H27-H22)

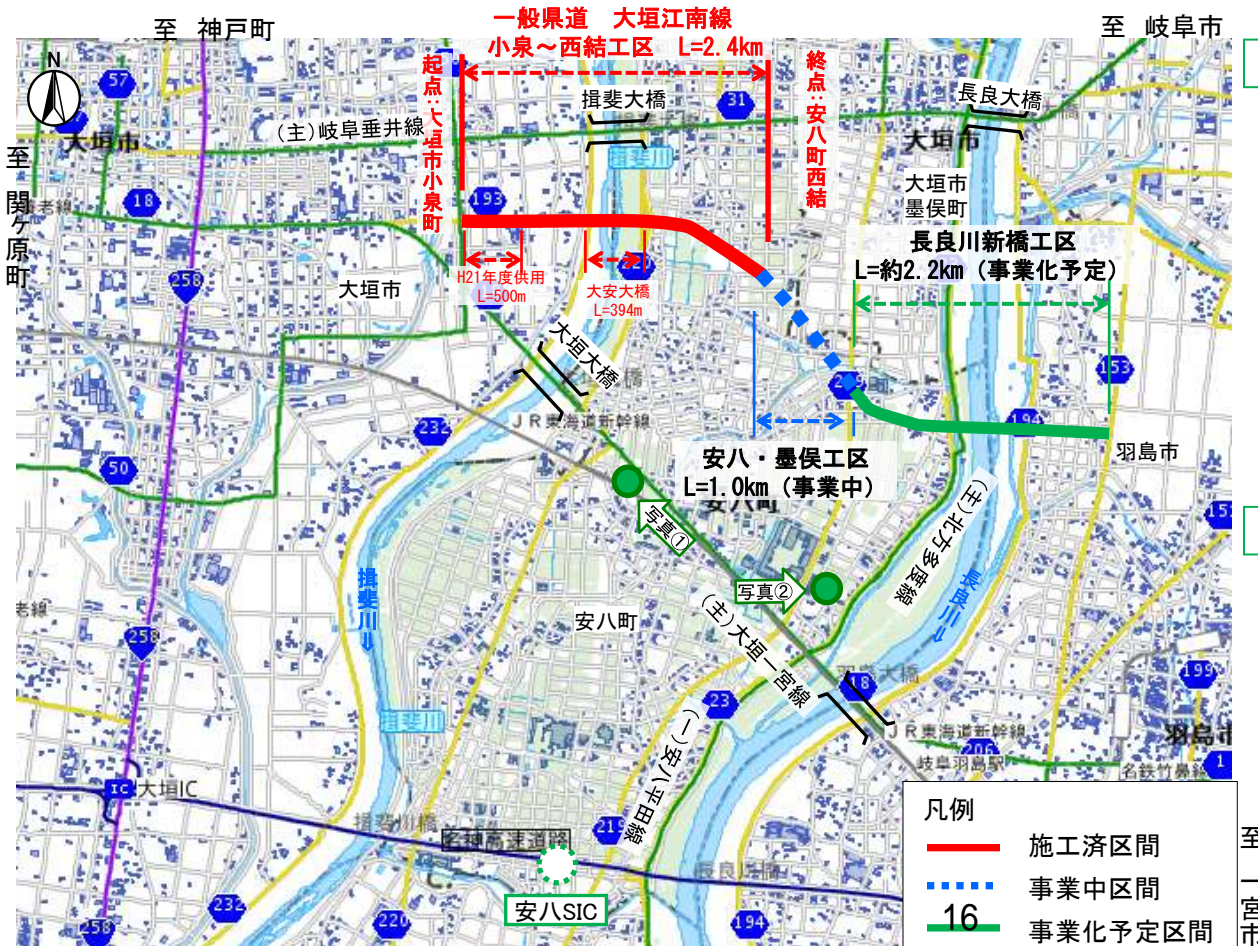
【箇所: 安八町西結～安八町東結周辺】



事業を巡る社会経済情勢等の変化

工業用地の再開発、企業の立地、雇用の再創出

- アクセスの向上、交通の円滑化により、新たな企業が進出。
- 周辺地域では、土地開発が進み、新たな事業用地の開発も進んでいる。



写真①: 大型商業施設の進出



撮影: H29.1

写真②: 物流拠点の進出(予定地)



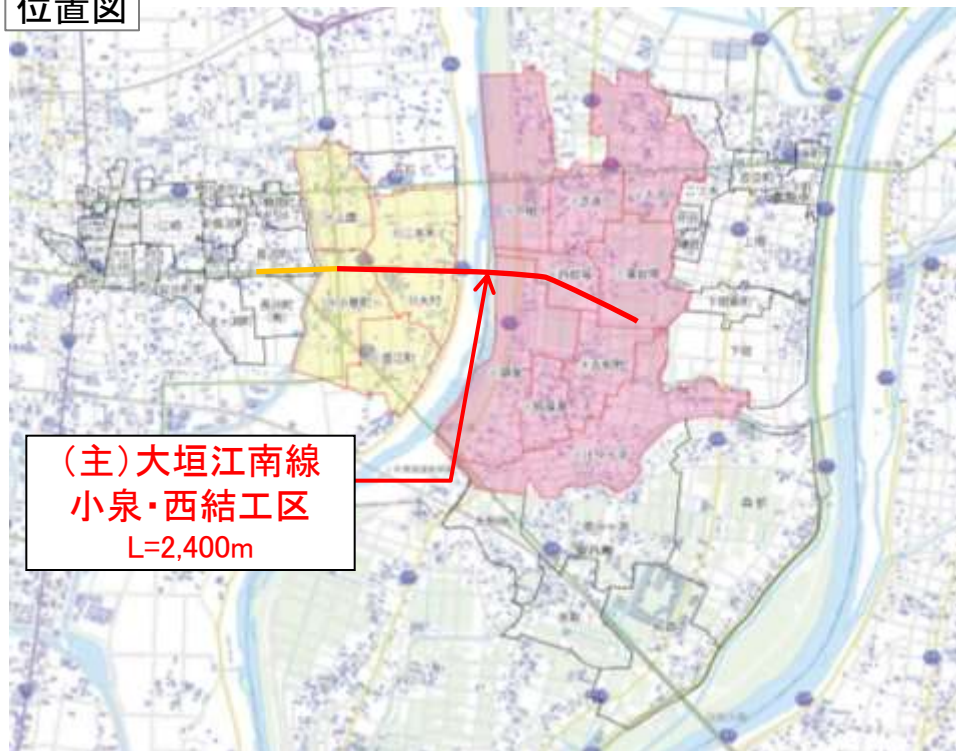
撮影: H29.1

地域住民等への効果

アンケート調査地区

- アンケート調査地区は、大垣江南線沿線の自治会区を対象
- 揖斐川渡河断面を構成する主要な幹線道路近傍のエリアを抽出

位置図



■ アンケート配布数

市町村	配布数	合計
大垣市	730	2,080
安八町	1,350	

- アンケート配布手法
対象地区内の各世帯へ無作為に配布

- アンケート実施時期
平成27年11月13日から11月30日

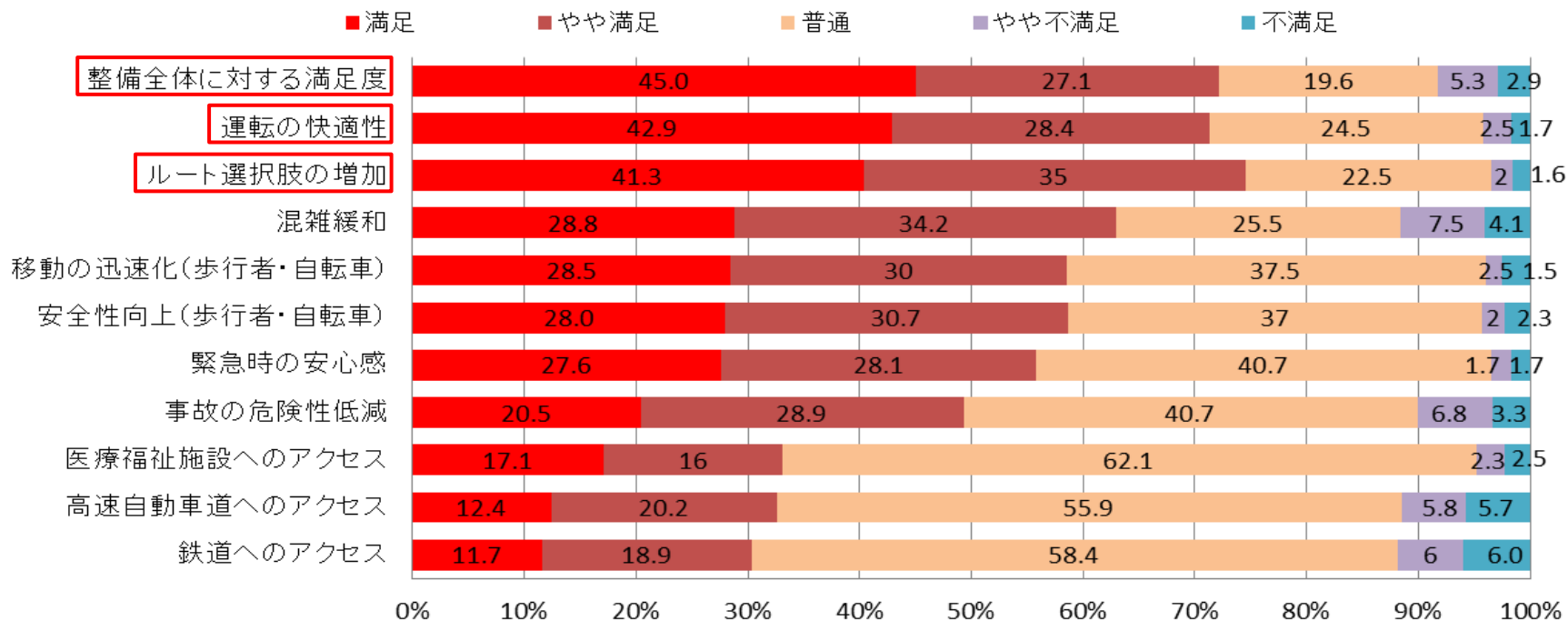
アンケート回収数：849部
回収率：約41%

地域住民等への効果①

アンケート調査結果（事業に対する満足度）

- 整備全体に関して、約7割の利用者が「満足、やや満足」と回答
- 混雑の緩和に関して、約6割の利用者が「満足、やや満足」と回答

一般県道大垣江南線の整備に伴う満足度



※各アンケート項目に対し、「満足」・「やや満足」と回答した割合を効果として抽出

※無回答票を除いて集計を実施

対応方針

◆今後の事後評価の必要性

- 混雑緩和及び移動利便性の向上等、事業効果を確認。
- 沿線住民へのアンケートでは、約7割の「満足」を確認。
⇒今の段階では、今後の事後評価の必要なし。

◆改善措置の必要性

- 供用後、大きな事故は発生しておらず、現段階では改善措置の必要はない。
⇒今の段階では、改善措置の必要なし。

◆新規事業への適用すべき留意点

- 貴重種等、必要な環境調査を行い、生息環境に配慮した事業の実施を推進していく。